

人物風土記

題字は
林文子 横浜市長

○：東京工業大学で5月に行われる「すずかけサイエンスデイ」。最先端の研究内容を多くの人に紹介する場だ。スタンプラリーを行うなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを目指して準備に奔走している。「一見難しそうに見える研究を身近に感じてほしい。地域の人にもたくさん来てもらえたらうれしい」と意気込みを見せた。

生、思い通りにはならな
いこともあるよ。でも、
なんとかなるさ』と学生
に説得力を持ってアドバ
イスできるよ」と笑った。
○：大学院の専攻を生
かし、研究機関へ。その後、
母校の東京工業大学で教
壇に立つ日々。こだわ
るのは、実際に手を動かす
ことだ。「ものづくりの喜
びを学生にも味わってほ
しい」と少年のような笑
顔で語る。同大最大規模
の研究所である未来産業
技術研究所の所長も務め
る。「社会の役に立つ多様
な研究ができる場を育て
ていきたい」と前を向く。
また、区内の小中学生へ
の出前講義など活動の場
を広げている。

心躍る気持ち大切に

○：生粋のハマっ子。
物心ついた頃には、ラジ
オを自分で作っていたと
いう。学校の実験室に入
るだけで、心が躍るほど
理科が大好きだった。も



●東京工業大学で行われる「すずかけサイエンスデイ」の実行委員長を務める

初澤 毅さん

厚木市在住 60歳

○：自宅には、ずらりと電車の模型が並ぶ。半数以上は、自身の手で作ったものだという。鉄道雑誌に記事を寄稿するほどだ。少年時代から続く「鉄道熱」は冷めることを知らない。大切にしているのは、わくわくする気持ち。「サイエンスだつて、わくわくする気持ちを持つことが一番大切だよ」と結び付けた。